

1 全体像	2・3 お金と金融	4・5 銀行	6・7 景気と日本銀行	8・9 円高・円安	10 まとめ
-------	-----------	--------	-------------	-----------	--------

このページのゴール この単元で学ぶお金の働き・金融・銀行・景気と日本銀行・為替相場を、ざっと言える

日本銀行（にっぽんぎんこう）

▲▼ 国債などの売り買い

家計 ▶ 株式・社債を買う ▶ 企業

家計 預金 ▶ 銀行など 貸し出し ▶ 企業

▲▼ 円とドルの交換

外国（ドルなど）

お金には、どんな働きがある？ 企業は、どうやってお金を集める？

銀行は、どんな仕事をして、どうやって収入を得ている？生活を、どう支えている？

景気がよい・悪いとは、どういうこと？ 日本銀行は、景気をどう安定させる？

外国のお金と、どんな比率で交換する？暮らしや企業に、どう影響する？

[illegible]

2 お金には、どんな働きがある？金融とは何？

このページのゴール 貨幣の3つの働き、通貨、金融と金融機関を言える

① もし、お金が無かったら

お金が無い時代は、品物と品物を直接とりかえる**物々交換**をしていました。お金（**貨幣**〔かへい〕）があると、何がちがうのでしょうか。

	物々交換	お金（貨幣）がある
相手	自分の欲しい物を持ち、しかもこちらの物を欲しがる相手を探すのがたいへん	だれとでも取り引きしやすい
分けたいとき	品物によっては分けられず、ちょうどよい量でとりかえにくい	値段の分だけ、お金で払える
ためたいとき	くさる品物は、ためておけない	お金のままためておき、後で使える

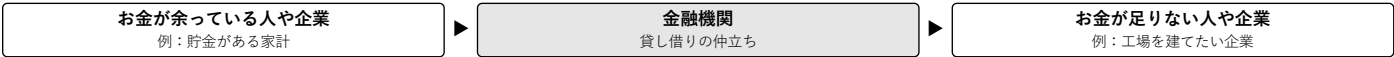
② 貨幣の3つの働き

働き	意味	例
交換の仲立ち （なかだち）	お金を払って、品物やサービスと交換する	パン屋でパンを買う
価値の尺度 （しゃくど）	値段で、物の価値をくらべられる	値札で、2つの品物の値段をくらべる
価値の貯蔵 （ちょぞう）	お金のままためておき、後で使える	お年玉を貯金箱にためて、来月使う

通貨（つうか）には、**紙幣**（しへい。日本銀行券）と**硬貨**（こうか）があります。紙幣は日本銀行が、硬貨は政府が発行します。このほかに、銀行の預金も、振り込みや引き落とし（口座振替）で支払いに使えます。

③ お金を回す「金融」

金融（きんゆう）：お金が余っている人や企業から、お金が足りない人や企業へ、お金を融通（ゆうずう）すること（お金の貸し借り）。
金融機関：金融の仲立ちをする所。銀行・信用金庫・証券会社・保険会社 など。



お金は、経済の中を流れる「血液」にたとえられます。お金の流れが止まると、生産や消費が進まなくなるからです。

注意 × 紙幣も硬貨も、日本銀行が発行する ○ 紙幣は日本銀行、**硬貨は政府**が発行する

合言葉 「お金の働きは、交換・尺度・貯蔵」

→ まとめ：お金には3つの働きがあり、金融が、余っている所から足りない所へお金を回す

3 企業は、どうやってお金を集める？

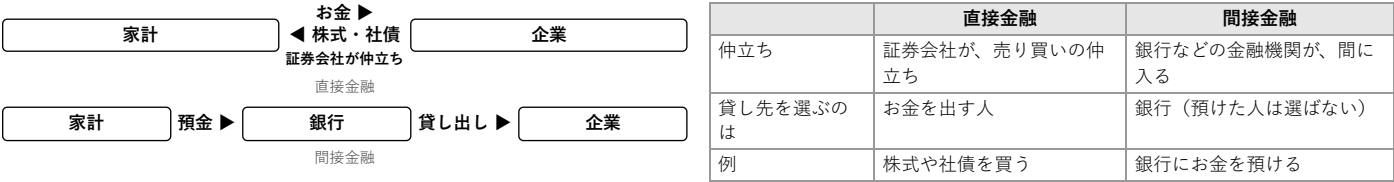
このページのゴール 直接金融と間接金融のちがいを、株式・社債・銀行と結びつけて言える

① 直接金融と間接金融

⑨後半で、株式会社は株式を発行してお金を集めると学びました。企業がお金を集める方法は、ほかにもあります。

直接金融：企業が株式や社債（しゃさい）を発行して、家計などから直接お金を集めること。証券会社（しょうけんがいしゃ）が売り買いの仲立ちをする。

間接金融：銀行などの金融機関が、家計などから預金として集めたお金を、企業などに貸し出すこと。



見分け方：お金を出す人が、どの企業に出すかを自分で選べば直接金融。銀行に預けて、銀行が貸し先を選べば間接金融です。

② 株式と社債のちがい

社債：企業が借金をするときに発行する証書。決まった時期に元金（がんきん。借りたお金）を返し、利子（りし。くわしくは4ページ）を払う。

	株式（⑨後半）	社債
お金を返すか	返さない	決まった時期に、元金を返す
出した人が受け取る物	配当（利潤から払う）	利子
会社が倒産すると	価値が無くなることもある	返してもらえなくなることがある

直接金融で出したお金は、企業の業績（ぎょうせき。仕事の成績）によって、増えることも減ることもあります。間接金融の預金は、銀行が元金と利子を払います。

注意 × 株式も社債も、決まった時期にお金を返す ○ 返すのは**社債**。株式は返さず、配当を払う

合言葉 「直接は株式・社債、間接は銀行」

→ まとめ：企業は、直接金融と間接金融でお金を集める

4 銀行は、どんな仕事をして、どうやって収入を得ている？

このページのゴール 銀行の3つの仕事、利子・元金・利子率（金利）、銀行の収入のしくみを言える

① 銀行の3つの仕事

仕事	何をする	例
預金	お金を預かる	お年玉を口座に入れておく
貸し出し	お金を貸す	新しい機械を買う企業に、お金を貸す
為替（かわせ）	振り込みなどで、現金を運ばずに離れた所へお金を送る	家賃を、大家さんの口座へ振り込む

② 利子と、利子率（金利）

利子（利息）：お金を借りた人が、借りたお金（元金）に加えて支払うお金。お金を預けた人は、銀行から利子を受け取る。
利子率（金利）：元金に対する、1年あたりの利子の割合（例：年3%）。

1年の利子 = 元金 × 利子率

例（架空）：Aさんが借りる	元金	利子率	1年の利子	1年後に返す額
100万円を年3%で1年借りる	100万円	年3%（0.03）	100万円×0.03＝3万円	103万円

③ 銀行の収入

銀行は、貸し出しの利子率を、預金の利子率より高くしています。その差が、銀行の主な収入（利潤）になります。

お金を預ける人	預金 ▶ ◀ 預金の利子	銀行	貸し出し ▶ ◀ 貸し出しの利子	お金を借りる人
例（架空）	利子率	預かった1000万円を、全部貸したとき（1年）		
預金の利子（銀行が払う）	年0.5%	1000万円×0.005＝5万円		
貸し出しの利子（銀行が受け取る）	年2%	1000万円×0.02＝20万円		
差（銀行の収入）		20万円－5万円＝15万円		

銀行は、貸したお金が返ってくるかを確かめてから貸します。

注意 × 為替とは、外国のお金と交換することだけ ○ 銀行の為替は、振り込みなどで離れた所へお金を送ること（外国のお金との交換は、8ページの為替相場）

合言葉 「預金・貸し出し・為替、収入は利子の差」

→ まとめ：銀行は預金・貸し出し・為替を行い、利子の差で収入を得る

5 銀行は、私たちの生活をどう支えている？ 新しい金融とは？

このページのゴール 生活の中の銀行の役割の例、キャッシュレス決済・フィンテック・クラウドファンディング、借りる時の注意を言える

① 生活の中の銀行

場面	銀行がすること	4ページの仕事
給料の受け取り（会社から口座へ振り込み）	振り込みを受けつける	為替
電気代や水道代の引き落とし（口座振替）	口座から自動で支払う	為替
家を買うとき、お金を借りて、毎月少しずつ返す（ <u>住宅ローン</u> ）	お金を貸し出す	貸し出し
進学のお金を借りる（教育ローンなど）	お金を貸し出す	貸し出し
店を始めるお金を借りる	お金を貸し出す	貸し出し
使わないお金を口座に入れておく	お金を預かる	預金

② 新しい金融

⑨前半で、現金を使わない支払い方を学びました。技術の進歩で、金融にも新しいサービスが生まれています。

キャッシュレス決済：現金を使わない支払い（クレジットカード・電子マネー・スマートフォンのコード決済 など）。

新しい金融	何か	例
<u>フィンテック</u>	金融（ファイナンス）と技術（テクノロジー）を組み合わせた言葉。情報通信技術を使った新しい金融のサービス	スマートフォンでの送金や支払い・家計の管理
<u>クラウドファンディング</u>	インターネットを通じて、多くの人から少しずつお金を集めるしくみ	新しい商品をつくる・地域の行事を開く

③ お金を借りる時の注意

立場	考えること
借りる人	利子をふくめて、返せる額かを考える
貸す銀行	貸したお金が返ってくるかを確かめてから貸す（4ページ）
クレジットカードで後払いにする人	カード会社に立てかえてもらう＝借りるのと同じ。使いすぎると返せなくなる

注意 ×クレジットカードで払えば、お金を借りたことにはならない ○ カード会社に**立てかえてもらう後払い**で、借りるのと同じ

合言葉 「借りたら、利子をつけて返す」

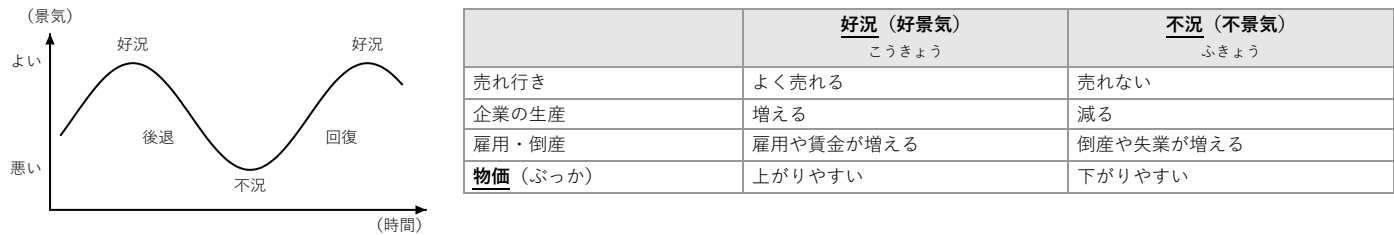
→ まとめ：銀行は生活を支え、キャッシュレス決済やフィンテックなど新しい金融も広がる

6 景気がよい・悪いとは、どういうこと？

このページのゴール 好況と不況、景気変動、インフレーションとデフレーションを言える

① 景気と、景気の波

景気（けいき）：経済全体の活動の調子（商品の売れ行き・生産・雇用など）。



山が好況、谷が不況。山から谷へ下る所が後退、谷から山へ上る所が回復です。

景気変動（景気循環）：好況→後退→不況→回復→好況…と景気がくり返し変わることを。

② インフレーションとデフレーション

物価：いろいろな商品の値段をまとめて平均した物。
インフレーション（インフレ）：物価が上がり続けること。
デフレーション（デフレ）：物価が下がり続けること。

	インフレ	デフレ
物価	上がり続ける	下がり続ける
お金の価値	下がる（同じお金で買える物が減る）	上がる（同じお金で買える物が増える）
起こりやすい時	好況	不況

例（架空）：1個100円のパンが200円になると、1,000円で買えるパンは10個から5個に減ります。
デフレは、物が売れず企業のもうけが減り、賃金下がって、さらに物が売れなくなる、という悪い流れになることがあります。

注意 × インフレでお金の価値が上がる ○ 買える物が減る = お金の価値は下がる

合言葉 「好況でインフレ、不況でデフレになりやすい」

→ まとめ：景気は好況と不況をくり返し、物価が上がり続けるとインフレ、下がり続けるとデフレ

7 日本銀行は、景気をどう安定させる？

このページのゴール 日本銀行の3つの役割、金融政策と公開市場操作（不況のとき・好況のとき）を言える

① 日本銀行の役割

日本銀行：日本の中央銀行（ちゅうおうぎんこう。国の金融の中心となる銀行。1882年に設立）。個人や一般の企業とは取り引きしない。

役割	何をする	相手
発券銀行	紙幣（日本銀行券）を発行する	世の中
銀行の銀行	一般の銀行にお金を貸したり、銀行のお金を預かったりする	一般の銀行
政府の銀行	政府のお金（税金など）を預かり、出し入れする	政府



日本銀行の本店
（東京都中央区）
写真：yt_siden（CC BY-SA 2.0）。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

② 景気を安定させる金融政策

金融政策：日本銀行が、景気や物価を安定させるために、出回るお金の量を調整すること。
公開市場操作（こうかいしじょうそうさ）：日本銀行が、一般の銀行との間で国債などを売り買いする、金融政策の主な方法。
国債（こくさい）：国が借金をするときに発行する証書（くわしくは⑩後半）。

不況のとき	好況のとき（景気が行きすぎ、物価が上がりすぎる時）
① 日本銀行が、一般の銀行から国債などを 買う	① 日本銀行が、一般の銀行に国債などを 売る
② 一般の銀行のお金が 増える	② 一般の銀行のお金が 減る
③ 銀行は、貸し出しの金利を 下げる	③ 銀行は、貸し出しの金利を 上げる
④ 企業や家計は、お金を 借りやすくなる	④ お金を 借りにくくなる
⑤ 生産や消費が活発になり、景気が回復に向かう	⑤ 生産や消費がおさえられ、景気の行きすぎや物価の上がりすぎをおさえる

政府も、景気を安定させるための政策を行います（くわしくは⑩後半）。

注意 ×日本銀行には、だれでも預金の口座をつくれる ○日本銀行は、個人や一般の企業とは取り引きしない

合言葉 「不況は買って金利を下げ、好況は売って金利を上げる」

→ まとめ：日本銀行は3つの役割をもち、金融政策で景気と物価を安定させる

8 円高・円安とは、ということ？

このページのゴール 為替相場、円高と円安を、1ドルが何円かの数で見分けられる

① 為替相場

アメリカへ旅行するには、日本の円を、アメリカのドルに交換しなければなりません。交換するときの比率が決まっています。

為替相場（かわせそうば。**為替レート**）：異なる通貨を交換するときの比率（例：1ドル＝100円）。外国と貿易や旅行をするには、通貨を交換する。

② 円高と円安

円高（えんだか）：外国の通貨に対して、円の価値が上がること。
円安（えんやす）：外国の通貨に対して、円の価値が下がること。

1ドル＝80円 円高	1ドル＝100円 もとの相場	1ドル＝125円 円安	為替相場	2万円は何ドル？
円の価値が上がる		円の価値が下がる	1ドル＝80円（円高）	$20,000 \div 80 = 250$ ドル
			1ドル＝100円	$20,000 \div 100 = 200$ ドル
			1ドル＝125円（円安）	$20,000 \div 125 = 160$ ドル

ドルから円にするときは、かけ算です。10ドルのおみやげは、1ドル＝100円なら1,000円、1ドル＝80円（円高）なら800円。円高だと、外国の物が安く買えます。

③ 為替相場は、なぜ動く？

為替相場は、毎日動いています（ニュースで「1ドル＝〇円」と伝えられます）。通貨の需要と供給で動くので、⑨後半の需要量と供給量と同じ考え方です。

起こること	値段の動き	為替相場
円をドルに交換したい人や企業が増える（ドルを買い求める人が多い）	ドルの値段が上がる	円安
ドルを円に交換したい人や企業が増える（円を買い求める人が多い）	円の値段が上がる	円高

注意 ×1ドル＝100円が1ドル＝80円になるのは、数が小さくなったので円安 ○ 少ない円で1ドルと交換できる＝円の価値が上がった＝円高

合言葉 「1ドルが少ない円で買えれば円高」

→ まとめ：為替相場は、通貨の需要と供給で動き、円高・円安になる

9 円高・円安は、暮らしや企業にどう影響する？

このページのゴール 円高・円安の影響、産業の空洞化、金融のグローバル化を言える

① 円高・円安の影響

	円高	円安
輸出	外国での日本の商品の値段が上がり、売れにくくなる（輸出に不利）	外国での日本の商品の値段が下がり、売れやすくなる（輸出に有利）
輸入	外国の商品を安く買える（輸入に有利）	外国の商品の値段が上がる（輸入に不利。原材料や食料の値上がり）
旅行	日本人の海外旅行が安くなる	外国から日本へ来る旅行者が増えやすい

例（架空）：日本で200万円の自動車を、アメリカで売るとします。

為替相場	アメリカでの値段
1ドル＝100円	$200万 \div 100 = 2万ドル$
1ドル＝80円（円高）	$200万 \div 80 = 2万5千ドル$

円高になると、アメリカでの値段が上がり、売れにくくなります。



港に並ぶ自動車
（愛知県 名古屋港）

写真：k n (CC BY-SA 2.0)。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

② 産業の空洞化と、グローバル化

産業の空洞化（くうどうか）：円高などで、企業が工場を海外に移し、国内の生産や雇用が減ること。

- ① 円高になると、外国での値段が上がって売れにくくなり、外国の工場の方が安くつくようになる
- ② 工場を外国に移す企業が増える
- ③ 国内の生産と雇用が減る

グローバル化：商品・お金・人・情報が国境をこえて行き来すること。

お金も世界を行き来し（金融のグローバル化）、ある国の金融の混乱が世界に広がることがあります。例：2008年、アメリカの大きな証券会社の倒産をきっかけに、世界中で景気が悪くなりました（世界金融危機）。

注意 × 円高になると、日本の輸出企業はもうかりやすい ○ 外国での値段が上がり、売れにくくなる

合言葉 「円高は輸入に有利、円安は輸出に有利」

→ まとめ：円高・円安は輸出・輸入・旅行に影響し、お金は世界を行き来する

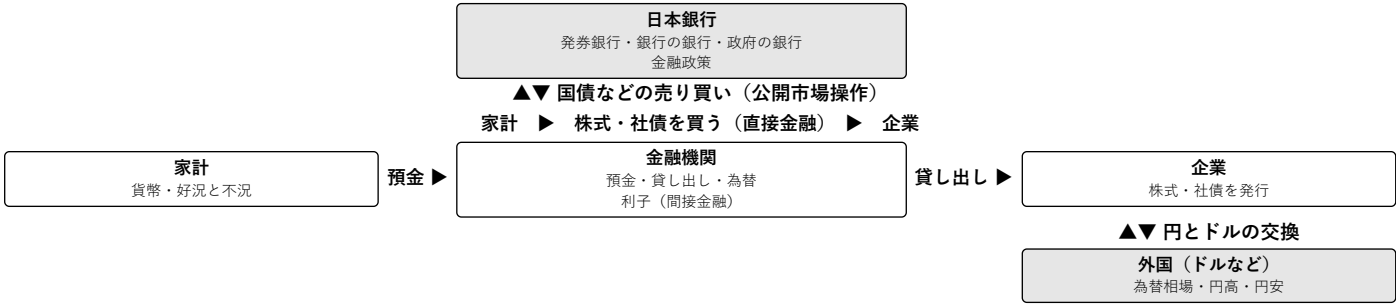
10 お金は、どう流れて、暮らしと景気を支えている？

このページのゴール 2～9ページを、ステップチャートで順につないで、1ページの問いに答えられる

① ステップチャート

① お金には交換・尺度・貯蔵の働きがあり、金融は余っている所から足りない所へお金を回す	くわしくは2ページ
② 企業は、株式や社債で直接お金を集め（直接金融）、銀行からも借りる（間接金融）	くわしくは3ページ
③ 銀行は預金・貸し出し・為替を行い、利子の差で収入を得る	くわしくは4ページ
④ 銀行は生活を支え、キャッシュレス決済やフィンテックなど新しい金融も広がる	くわしくは5ページ
⑤ 景気は好況と不況をくり返し、物価が上がり続けるとインフレ、下がり続けるとデフレ	くわしくは6ページ
⑥ 日本銀行は発券銀行・銀行の銀行・政府の銀行で、金融政策で景気と物価を安定させる	くわしくは7ページ
⑦ 円と外国の通貨を交換する比率が為替相場で、需要と供給で円高・円安になる	くわしくは8ページ
⑧ 円高・円安は輸出・輸入・旅行に影響し、お金は世界を行き来する	くわしくは9ページ

② お金の流れの全体図



③ 問いの答えの例

お金は、交換・尺度・貯蔵の働きをもち、金融によって、余っている所から足りない所へ流れます。企業は、株式や社債で直接、または銀行から借りて間接に、お金を集めます。銀行は、利子の差で収入を得ながら、私たちの生活を支えます。景気は好況と不況をくり返すので、日本銀行は、国債などの売り買いで出回るお金の量を調整し、景気と物価を安定させます。お金は、為替相場で外国の通貨と交換され、円高・円安は輸出や輸入に影響します。

確認問題① お金の働き・企業のお金の集め方・銀行の仕事と利子

答えと解説は15・16ページ（8枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 お金の働きについて答えなさい。【2ページ】

次の(1)～(3)の場面は、貨幣の3つの働きのうち、どれにあたりますか。働きの名前を書きなさい。

- (1) 本屋で本を買う。 _____
- (2) 2足のくつの値段をくらべて、買う方を選ぶ。 _____
- (3) 来年の旅行のために、毎月お金をためておく。 _____
- (4) 物々交換で困ることとして、正しいものを1つ選びなさい。
ア 相手がだれでも、すぐ取り引きできる イ どんな品物も、思いどおりの量に分けられる
ウ 自分の欲しい物を持ち、しかもこちらの物を欲しがる相手を探すのがたいへん エ くさる品物でも、ずっとためておける _____
- (5) 硬貨を発行しているのは、どこですか。 _____
- (6) お金余っている人や企業から、お金が足りない人や企業へ、お金を融通することを何といいますか。

- (7) お金の貸し借りの仲立ちをする所として、あてはまるものを2つ選びなさい。 ア 保険会社 イ 市役所 ウ 信用金庫 エ コンビニエンスストア

2 企業のお金の集め方について答えなさい。【3ページ】

次の(1)～(3)は、直接金融と間接金融のどちらにあたりますか。

- (1) A社が、新しい株式を発行して、多くの人からお金を集める。 _____
- (2) B社が、信用金庫からお金を借りる。 _____
- (3) C社が、決まった時期にお金を返して利子を払う約束の証書を発行し、家計から集める。

- (4) (3)でC社が発行した証書を、何といいますか。 _____
- (5) 株式を持つ人が、会社の利潤の一部として受け取る物を何といいますか。 _____
- (6) (1)や(3)のように、お金を集めるときの売り買いの仲立ちをする会社を、何といいますか。

- (7) 株式を買って企業に直接お金を出すとき、銀行にお金を預けるのとくらべて、気をつけることを書きなさい。

3 銀行の仕事と利子について答えなさい。【4ページ】

次の(1)～(3)の場面は、銀行の3つの仕事のうち、どれにあたりますか。

- (1) 遠くに住む祖母の口座に、お祝いのお金を振り込む。 _____
- (2) 店を広げる会社にお金を貸す。 _____
- (3) 毎月のこづかいの残りを、口座に入れておく。 _____
- (4) お金を借りた人が、利子とは別に返す、もともと借りた金額を何といいますか。 _____
- (5) 借りたお金に対する、1年あたりの利子の割合を何といいますか。 _____

Bさんが、50万円を年4%で1年間借りました。

- (6) 1年間の利子はいくらですか。 _____ 万円
- (7) Bさんが1年後に返す金額は、合わせていくらですか。 _____ 万円

確認問題② 生活と新しい金融・景気とインフレ・デフレ

4 生活と新しい金融について答えなさい。【5ページ】

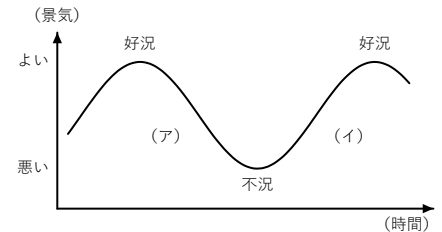
- (1) 家を買うときにお金を借り、毎月少しずつ返すしくみを何といいますか。 _____
- (2) キャッシュレス決済にあたるものを2つ選びなさい。 ア 現金を店員に渡して買う イ 電子マネーで支払う ウ 貯金箱の小銭で払う
エ スマートフォンのコード決済で払う _____
- (3) 情報通信技術を使った新しい金融のサービスを、何といいますか。 _____
- (4) インターネットを通じて、多くの人から少しずつお金を集めるしくみを、何といいますか。

- (5) お金を借りるときに考えることとして、正しいものを1つ選びなさい。
ア 借りたお金は、返さなくてもよいと考える
イ 利子をふくめて、返せる額かどうかを考える
ウ 借りの額が多いほど、利子は安くなると考える
エ 返せるかどうかは、借りた後に考える _____

5 景気とインフレ・デフレについて答えなさい。【6ページ】

下の図は、景気の波を表しています。(ア)(イ)にあてはまる語を書きなさい。

- (1) (ア) _____
- (2) (イ) _____



- (3) 景気が、このようくり返し変わることを何といいますか。 _____
- (4) 不況のときに起こりやすいことを2つ選びなさい。 ア 倒産や失業が増える イ 商品がよく売れる ウ 商品が売れず、値段が下がりやすい
エ 企業の生産が増える _____
- (5) いろいろな商品の値段をまとめて平均した物を、何といいますか。 _____
- (6) (5)が下がり続けることを、何といいますか。 _____
- (7) 1個150円のおにぎりが200円になりました。3,000円で買えるおにぎりは、何個から何個に変わりましたか。
_____個から _____個
- (8) インフレーションが続くと、貯金だけで暮らす人が困るのはなぜですか。

6 日本銀行について答えなさい。【7ページ】

- 景気が行きすぎた好況のとき、日本銀行は次のように動きます。(ア)～(ウ)にあてはまる語を書きなさい。
- 日本銀行が一般の銀行に国債などを(ア)→一般の銀行のお金が(イ)→銀行は貸し出しの金利を(ウ)→お金を借りにくくなり、景気の行きすぎがおさえられる
- (6) (ア) _____ (7) (イ) _____ (8) (ウ) _____

(1) 異なる通貨を交換するときの比率を何といいますか。 _____

(2) 交換の比率が、1ドル=100円から1ドル=90円になりました。円高と円安のどちらですか。

- (3) 1ドル=120円のとき、6,000円は何ドルと交換できますか。 _____ ドル
1個20ドルの品物を、日本で買うとします。
- (4) 1ドル=120円のとき、この品物は何円ですか。 _____ 円
- (5) 1ドル=100円のとき、この品物は何円ですか。 _____ 円
- (6) (2)のように動いたとき、有利になるものを2つ選びなさい。
ア 日本から外国へ商品を売る会社 イ 外国から原材料を買う日本の会社
ウ 日本に来る外国人旅行者 エ 海外旅行に行く日本人 _____
- (7) 企業が工場を海外に移し、国内の生産や雇用が減ることを何といいますか。 _____
- (8) 商品・お金・人・情報が国境をこえて行き来することを何といいますか。 _____
- (9) (2)のように動くとき、日本の企業が工場を外国に移すことが増えるのはなぜですか。

次のステップチャートの(ア)(イ)にあてはまる語を書きなさい。

③ 銀行は預金・貸し出し・為替を行い、(ア)の差で収入を得る → ④ 銀行は生活を支え、キャッシュレス決済や(イ)など、新しい金融も広がる

(1) (ア) _____ (2) (イ) _____

(3) お金が経済の「血液」にたとえられるのはなぜですか。

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

お金と金融（2・3ページ）

貨幣の3つの働き	交換の仲立ち・価値の尺度・価値の貯蔵
通貨・金融	通貨＝紙幣（日本銀行が発行）と硬貨（政府が発行）。金融＝お金が余っている所から足りない所へお金を融通すること。金融機関＝銀行・信用金庫・証券会社・保険会社 など
直接金融・間接金融	直接金融＝企業が株式や社債を発行して直接お金を集める（証券会社が仲立ち）。間接金融＝銀行などが預金を集めて企業に貸し出す
株式と社債	株式＝返さない・配当。社債＝決まった時期に元金を返し、利子を払う

銀行（4・5ページ）

銀行の3つの仕事	預金（預かる）・貸し出し（貸す）・為替（振り込みなどで離れた所へお金を送る）
利子・利子率	利子（利息）＝借りた人が元金に加えて払うお金。利子率（金利）＝元金に対する1年あたりの利子の割合。1年の利子＝元金×利子率
銀行の収入	貸し出しの利子率＞預金の利子率。その差が主な収入（利潤）
新しい金融	キャッシュレス決済・フィンテック・クラウドファンディング。借りるときは、利子をふくめて返せる額かを考える。クレジットカードの後払いも借りるのと同じ

景気と日本銀行（6・7ページ）

景気・景気変動	好況（よく売れる・生産が増える・物価は上がりやすい）。不況（売れない・生産が減る・倒産や失業が増える・物価は下がりやすい）。好況 → 後退 → 不況 → 回復 → 好況 …
物価・インフレ・デフレ	物価＝商品の値段を平均した物。インフレーション＝物価が上がり続ける（お金の価値が下がる）。デフレーション＝物価が下がり続ける
日本銀行	中央銀行（1882年設立）。発券銀行・銀行の銀行・政府の銀行。個人や一般の企業とは取引しない
金融政策・公開市場操作	不況：国債などを買う → 銀行のお金が増える → 金利が下がる → 借りやすい。好況：売る → 減る → 金利が上がる → 借りにくい。国債＝国が借金をするとき発行する証書

円高・円安（8・9ページ）

為替相場	異なる通貨を交換する比率。円高（1ドル＝100円 → 80円。円の価値が上がる）。円安（→ 125円。円の価値が下がる）。通貨の需要と供給で動く
円高・円安の影響	円高＝輸出に不利・輸入に有利・海外旅行が安い。円安＝輸出に有利・輸入に不利・外国から来る旅行者が増えやすい
空洞化・グローバル化	産業の空洞化＝工場が海外に移り、国内の生産や雇用が減る。グローバル化＝商品・お金・人・情報が国境をこえて行き来する。世界金融危機（2008年）

合言葉

「お金の働きは、交換・尺度・貯蔵」／「直接は株式・社債、間接は銀行」／「預金・貸し出し・為替、収入は利子の差」／「借りたら、利子をつけて返す」／「好況でインフレ、不況でデフレになりやすい」／「不況は買って金利を下げ、好況は売って金利を上げる」／「1ドルが少ない円で買えれば円高」／「円高は輸入に有利、円安は輸出に有利」

確認問題の答えと解説

1【2ページ】

(1) 交換の仲立ち

(2) 価値の尺度

(3) 価値の貯蔵

(4) ウ (5) 政府 (6) 金融

(7) ア、ウ

(1)～(3) 本を買う＝お金を払って品物と交換、値段をくらべる＝尺度、ためて後で使う＝貯蔵。(4) 物々交換は、自分の欲しい物を持ち、こちらの物を欲しがる相手を探すのがたいへん。アは、お金があるときの話。イ・エは、分けられない品物やくさる品物があるので、ちがう。(5) 紙幣は日本銀行、硬貨は政府が発行。(6) 余っている所から足りない所へお金を融通するのが金融。(7) 金融機関は、銀行・信用金庫・証券会社・保険会社 など。市役所とコンビニエンスストアはちがう。【2】

2【3ページ】

(1) 直接金融 (2) 間接金融 (3) 直接金融

(4) 社債 (5) 配当

(6) 証券会社

(7) (例) 企業の業績によって、出したお金が減ることがある。

(1)(3) 株式や社債を発行して、家計から直接お金を集めるので直接金融。(2) 金融機関から借りるので間接金融。(4) 決まった時期に元金を返し、利子を払う証書は社債。(5) 株式は返さない代わりに、利潤から配当を払う。(6) 直接金融の売り買いの仲立ちは証券会社。(7) 採点のめやす：「業績」と「減る」の語が入っていれば正解（預金は銀行が元金と利子を払うが、直接金融で出したお金は増えることも減ることもある）。【3】

3【4ページ】

(1) 為替 (2) 貸し出し (3) 預金

(4) 元金

(5) 利子率（金利）

(6) 2万円 (7) 52万円

(1) 離れた所へ現金を運ばずにお金を送るのは為替。(2) お金を貸すのは貸し出し。(3) お金を預かるのは預金。(4) 借りた金額は元金で、利子はそれに加えて払う。(5) 元金に対する1年あたりの利子の割合が利子率（金利）。(6) 1年の利子＝元金×利子率＝50万円×0.04＝2万円。(7) 50万円＋2万円＝52万円。【4】

4【5ページ】

(1) 住宅ローン

(2) イ、エ

(3) フィンテック

(4) クラウドファンディング

(5) イ

(1) 家を買うとき、借りて毎月少しずつ返すのが住宅ローン（銀行の貸し出し）。(2) 電子マネーとコード決済は現金を使わない支払い。現金・小銭は現金。(3) 金融と技術を組み合わせた言葉で、情報通信技術を使った新しい金融のサービス。(4) 多くの人から少しずつお金を集めるしくみ。(5) 借りるときは、利子をふくめて返せる額かを考える。アは返す、ウは利子は安くならない、エは借りる前に考える、がちがう。【5】

5【6ページ】

(1) (ア) 後退 (2) (イ) 回復

(3) 景気変動（景気循環）

(4) ア、ウ

(5) 物価 (6) デフレーション（デフレ）

(7) 20個から15個

(8) (例) お金の価値が下がり、同じ貯金で買える物が減るから。

(1)(2) 山から谷へ下る所が後退、谷から山へ上る所が回復。(3) 好況 → 後退 → 不況 → 回復のくり返し。(4) 不況は、売れない・倒産や失業が増える・物価は下がりやすい。イとエは好況。(5) 商品の値段を平均した物が物価。(6) 物価が下がり続けるのがデフレ。(7) $3,000 \div 150 = 20$ 個、 $3,000 \div 200 = 15$ 個。(8) 採点のめやす：「お金の価値」と「買える物」の語が入っていれば正解。【6】

6【7ページ】

(1) 中央銀行 (2) 政府の銀行

(3) 銀行の銀行

(4) 金融政策

(5) 公開市場操作

(6) (ア) 売る (7) (イ) 減る (8) (ウ) 上げる

(1) 日本の金融の中心は中央銀行である日本銀行。(2) 政府のお金を預かるのは政府の銀行。(3) 一般の銀行にお金を貸すのは銀行の銀行。(4) 景気や物価の安定のため、出回るお金の量を調整するのが金融政策。(5) 国債などの売り買いが公開市場操作。(6)～(8) 好況のときは、国債などを売る → 銀行のお金が減る → 銀行が金利を上げる → 借りにくくなる。【7】

7【8・9ページ】

- (1) 為替相場（為替レート）
 - (2) 円高（3）50ドル
 - (4) 2400円（5）2000円
 - (6) イ、エ
 - (7) 産業の空洞化
 - (8) グローバル化
 - (9)（例）外国での値段が上がって売れにくくなり、外国の工場の方が安くつくれるから。
- (1) 異なる通貨を交換する比率が為替相場。(2) 1ドルと交換するのに要する円が100円から90円に少なくなった＝円の価値が上がった＝円高。(3) $6,000 \div 120 = 50$ ドル。(4)(5) ドルから円はかけ算。 $20 \times 120 = 2400$ 円、 $20 \times 100 = 2000$ 円。(6) (2)は円高。円高だと、外国の物は安く買え、海外旅行も安くなる。アは輸出に不利、ウは円安のときに増えやすい。
- (7) 工場が海外に移り、国内の生産や雇用が減る。(8) 国境をこえて行き来すること。(9) 採点のめやす：「外国での値段」と「安く」の語が入っていれば正解。【8・9】

8【2～10ページ】

- (1) 利子（利子率も正解）（2）フィンテック（クラウドファンディングも正解）
 - (3)（例）お金が余っている所から足りない所へ流れ、流れが止まると生産や消費が進まなくなるから。
- (1)(2) 10ページのステップチャートの③と④。(1) は利子率の差と書いても正解（4ページ）。(2) はクラウドファンディングも新しい金融（5ページ）。(3) 採点のめやす：「余っている」と「足りない」の語が入っていれば正解。【2・4・5・10】